



そらいろ保育園の保健について

保育園説明会資料
保健・菊川

－ 大切にしていること －

1. 子ども達自身が自分の体を知り、自分の体を作っていく過程を見守る環境をつくること
2. 子どもを取り巻く大人（保護者、保育士、看護師、栄養士など）がみんなで子どもの健康を考えること

具体的には・・・？

今しかない貴重な時間を大切に

保護者の方にとって、今何が一番大切かを心にとめていただき、子ども達の生活を考えていただくことをとってもとっても大事に考えています！

保育園では、1日熱を出しても翌日には下がるという子、鼻水も咳も出ているけど熱は出さないで毎日来ている子、延長保育が続いても疲れを見せずニコニコしている子、熱が続いてなかなか下がらない子…いろんな子がいます。子ども達はお父さんお母さんがお仕事で頑張っていることを、小さいうちからよく知っています。だから彼らも必死に頑張ります。働く親としてはありがたいです(私も親なので…)

そらいろ保育園では、よく言われる37.5℃出たからお迎えに来てください、とは言いません。体温が少し高めでも、その子が元気でごはんも食べていて、いつもと同じ様子なら少し様子を見ます。逆に、たとえ熱が出ていなくても、その子が普段と違う何かしらのSOSサインを出したらご家族にご連絡します。

忘れてはいけないのは、子ども達にも限界がきたらやはり心身に不調が生じることです。だから、早急にお迎えをお願いするかもしれませんし、その時の状態をお伝えして、お仕事の目安を考えて頂くこともあるかもしれません。

経験上、この時期の子ども達のSOSを見逃すと小学校に入ってから、またはその先で、心身の不調をきたすことがあります。

そらいろ保育園は働くご家族を応援しています。同時に、お子さんたちの今しかない貴重な時間も大切に思っています。



自分の体は自分で癒せることを知ろう♪

例えば、子ども達に擦り傷が出来たとします。→擦り傷はなんで痛いんだろう？→痛いから洗うのヤダな→でも洗ってべったんこしたら何だか痛くなくなったぞ！？

次の日、その次の日と、子ども達と一緒にケアをしていき、時には**食べ物**も**睡眠**も関係している事を伝えていくことで、体は自分たちの力で作る事が出来るんだ！癒すことができるんだ！という事を実感してもらいたいなと考えています。(小さいお子さんでもお傷が治ってくると、ほら見て！治ったよ！と指差して教えてくれます)

保護者の方にも、傷をきれいに早く治していく方法についてご理解いただけるよう、情報提供を行い、お家でも一緒にケアしていただけるようお声がけします。



さまざまなお子さんがいますので

近年、予防接種については賛否両論色々な説が飛び交っています。だから、受けないといけないと考える方もいれば、受けさせたくないと思う方もいると思います。それはそれぞれの考え方なので、どちらを肯定も否定もできないと思っています。

しかし、保育園と言う場合は集団生活なので、いろいろなものを移し、移されます。その中でだんだんと免疫力がついていくわけですが、中には重症化してしまうものや、感染症が悪化しやすいお子さんもいらっしゃいます。そのため、感染症蔓延防止目的で予防接種を受けていただきたいと思います。

接種を希望されないご家庭には、感染症流行時期に早めにお声がけをして、自宅安静など予防に協力していただくことにしています。

～ 皆様からの質問におこたえします ～



1、何度の発熱で呼び出されますか？ すぐにお迎えにいかなくてはなりませんか？

A：1 枚目で大まかにお答えしていますが、目安は平熱+1℃です。発熱だけではなく、全身状態（機嫌が悪い、ごはんやミルクが摂取できない、活気がない、嘔吐や下痢が続くなど）をみて判断しています。

小さいお子さんは良くなるのも早いですが、悪化するのも早いので、慎重にみていきます。ちなみに入園後の1 年間は、何回も熱を出しながらウイルスたちと闘って強くなっていきますので、お呼び出しは多くなると思っていただいた方が良いでしょう。その分、その後は強く元気な子になりますよ♡

2、ケガはしますか？



A：します。どの園に通われても、ケガをしないということは恐らくないでしょうし大人になるまでケガをしなかったら、痛いから次は気をつけようという考えが働かなくなり大きなケガに繋がります。また、自分の力で傷を癒すことができなくなるので、むしろ危険だと思います。

当園では、ケガをさせない保育ではなく、ケガをしてしまっても自分には治す力がある、治すにはどうしていくかを共に考える保育を行っています。そして、重大なケガや事故が起こらないように、1 人 1 人の成長や発達を見ながら保育を考えています。

もし、お子さんに絶対ケガをさせたくないというご家庭がありましたら、そらいろはお勧めできません💧

3、睡眠チェックはどのようにしていますか？

A：0 歳から幼児にいたるまで、睡眠時チェック表を用いて毎日必ず行っています。体に触れて呼吸を確認し、うつ伏せ寝を仰向けにして SIDS(乳幼児突然死症候群)の予防に努めています。具体的な方法をお知りになりたい方は、看護師までお声がけください。お見せします♪

4、薬の対応は

どうなっていますか？

A：医師が園でも必要と判断して処方されたものに関しては、所定の依頼書に記入の上、日中の与薬が可能です。

～ 情報提供はこんな方法で ～

保健だよりを毎月発行して、その時期のトピックや検診などの情報をお伝えしています。

また、保護者の方と直接お話をさせていただいたり、お手紙等で連絡をさせていただいています。

保健だより より一部抜粋

現在はアトピー性皮膚炎や喘息の予防のためにスキンケアがとても大切だと言われています。

アレルギーの発症予防として、スキンケアはとても大切なので、入園前からぜひ自宅で朝とお風呂あがりなど、1 日 2 回以上クリームなどで保湿してあげてほしいです。話しかけながら触れてあげることでコミュニケーションにもなり、また、風邪予防(ガサガサの肌はバイ菌がひっかかりやすいため…)にもなるのでオススメです。

～ 最後にひとこと ～

そらいろ保育園は、駅近で、園舎も新しく、園庭があって、延長保育も行っている一見…便利な園です。ですが、親としてラクチンな保育園ではないな💧と思います。泥んこだし…擦り傷はしょっちゅうだし…でも、子どもたちがキラキラしていて、笑顔が最高で、子どもと大人が共に育っていく、楽しく素晴らしい保育園だと思っています。

大切なお子さんのことですので、他の保育園さんもたくさん見ていただき、ご家庭の方針と合う保育園を外見ではなく、中身で選びいただけたらと思います。その中で、そらいろ保育園を選んでいただけたらとても嬉しく思います♪

